

朝倉文夫没後60年特別展

ワンダフル猫ライフ

朝倉文夫と猫、ときどき犬

Special Exhibition Commemorating
the 60th Anniversary of the Passing of
Asakura Fumio
"The Wonderful Life of Cats:
Asakura Fumio and Cats,
and Sometimes Dogs"



◆開催概要

展覧会名: 朝倉文夫没後 60 年特別展 ワンダフル猫ライフ 朝倉文夫と猫、ときどき犬

会期: 2024年 9月14日(土)~12月24日(火)

開館時間: 9時30分~16時30分(入館は16時まで)

休館日: 月曜日・木曜日(祝休日は開館)

入館料: 一般 500 円 / 小・中・高校生 250 円

主催: 公益財団法人 台東区芸術文化財団、台東区立朝倉彫塑館

住所: 〒110-0001 台東区谷中7丁目18番10号

TEL: 03-3821-4549 FAX: 03-3821-5225

1

※掲載内容に変更が生じる場合があります

◆展覧会趣旨

1964 年は朝倉文夫(1883~1964)にとり、彫刻家として 60 年を迎える記念すべき年でした。同年は東京オリンピック開催の年にあたり、祭典の機運の中、朝倉も趣向を凝らした「猫百態展」を企画します。大変残念なことに、朝倉はその年の4月18日に81歳で生涯を閉じ、「猫百態展」の実現には至りませんでした。

没後 60 年にあたる本年、朝倉が最後に夢見た猫作品の大集合が実現します。本展では猫作品のほか犬作品も加わり、賑わいもひとしおです。終の住処であった当館で、朝倉の猫と犬がみなさまをお待ちしております。

◆関連イベント

🐾 つくるワークショップ「猫と犬でモビール」

展示作品をモチーフにしたモビールを作ります

*詳細は WEB サイト(https://www.taitogeibun.net/asakura/exhibitions/e_special/)をご確認ください

🐾 みてよむワークショップ「猫と犬で五七五」

鑑賞体験を軸に俳句や川柳を作ります

*詳細は WEB サイト(https://www.taitogeibun.net/asakura/exhibitions/e_special/)をご確認ください

🐾 フォトフォーラム「朝倉文夫と猫、ときどき犬」

本展会期中、当館フォトスポットで撮影した写真に「#ASAKURA_cat_dog」をつけて Instagram に投稿しよう!

公式アカウント: [asakura_museum_of_sculpture](#) をフォロー! タグ付けして投稿してね

(会場の一部にフォトスポットを設けています)

🐾 ふれてたしかめる

さわれる彫刻《たま》をナデナデ♡触ってみよう!

🐾 みんなのひろば やっぱり●がすき

みなさまのコメントを掲示するスペースを開設します

🐾 ギャラリートーク

展示の見どころを Youtube で公開します

🐾 このこを探せ！

隔週で猫たちがかくれんぼ！館内のどこにいるか見つけてね！

◆ご注意

お客様の安全確保および建物保全のため、靴下の着用をお願いいたします

当館は個人の邸宅だったため、バリアフリーには対応しておりません

気象状況等により、屋上を閉鎖する場合がございます

◆展覧会・広報

本展をメディアでご紹介いただく際は、担当までご連絡いただくか、次頁の申込書を用いてお申込みください。

担当：朝倉彫塑館 戸張(とばり) E-mail asakura-event@taitogeibun.net



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11



12



13



14



15

1 展覧会ポスター(縦)、2 朝倉文夫《たま(好日)》1930 年、3 朝倉文夫《仔猫の群》1927 年、4 朝倉文夫《よく獲たり》1946 年、5 朝倉文夫《猫(金メタリコン)》1914 年、6 朝倉文夫《吊された猫》1909 年、7 朝倉文夫《愛猫病めり》1958 年、8 朝倉文夫《居眠る猫》1914 年、9 朝倉文夫《原題不明(背伸びする)》1919 年頃、10 朝倉文夫《臥たるスター》1919 年、11 朝倉文夫《スター》1920 年、12 猫に囲まれる朝倉文夫、13 ポートレート、14 朝倉彫塑館外観、15 展覧会ポスター(横)

◆画像提供のご案内

特別展広報用画像をご提供いたします。ご希望の方は申込書にご記入の上、FAX またはメールにてお申し込みください。
メールまたは画像送信サービスにてお送りいたします。 下記使用条件を必ずご確認ください

【使用条件】

- ※ 広報用画像のご使用は、本展の紹介に限らせていただきます
- ※ 作品写真の掲載には、作者名、作品名、制作年を必ずご記載ください
- ※ 作品を部分的に切り取っての使用、ならびに文字や他のイメージを重ねることはご遠慮ください
- ※ 美術作品のため、レイアウトにご配慮ください
- ※ 情報確認のため、お手数ですが事前に校正用原稿等をお送りください
- ※ アーカイブのため、掲載誌(紙)、番組収録の DVD などをお送りください

画像提供申込書

台東区立朝倉彫塑館 広報担当 行

FAX: 03-3821-5225 / E-mail: asakura-event@taitogeibun.net

貴社名: _____ ご担当者名: _____

連絡先 E-mail: _____

連絡先 TEL: _____ FAX: _____

使用媒体(○で囲んでください): _____ 新聞 _____ テレビ _____ 雑誌 _____ WEB _____

その他(_____) ※企画書のご提出をお願いする場合があります

掲載紙・誌・番組名(予定コーナー): _____

放送・発行予定日: _____

広報用画像データ(ご希望の画像番号を○で囲んでください)

1	展覧会ポスター(縦)	15	展覧会ポスター(横)	2	朝倉文夫《たま(好日)》1930 年
3	朝倉文夫《仔猫の群》1927 年			4	朝倉文夫《よく獲たり》1946 年
5	朝倉文夫《猫(金メタリコン)》1914 年			6	朝倉文夫《吊された猫》1909 年
7	朝倉文夫《愛猫病めり》1958 年			8	朝倉文夫《居眠る猫》1914 年
9	朝倉文夫《原題不明(背伸びする)》1919 年頃			10	朝倉文夫《臥たるスター》1919 年
11	朝倉文夫《スター》1920 年			12	猫に囲まれる朝倉文夫
13	ポートレート			14	朝倉彫塑館外観